

令和4年度 宇佐市 市長賞詞受賞者

No	表彰区分	氏 名	設立年月日	所在地
1	市長賞詞	大分県立宇佐産業 科学高等学校	明治34年 (1901年)	宇佐市大字四日市 292
<p>「地元で学び、地元で貢献、地元と共に」のスローガンのもと、大分県立宇佐産業科学高等学校 グリーン環境科では、地域貢献として棚田の再生プロジェクトや地元酒造会社と連携したSDGsの取り組みなど、地域の課題を解決すべく日々の学習活動に取り組まれています。</p> <p>本年11月に開催された「第16回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト in 山形県庄内町」の高校生部門に初挑戦し、予選会応募数64点の中から予選審査員500名による実食審査等を経て、高校生部門最高得点で決勝大会に勝ち上がり、決勝大会では選出された6点の中から最優秀金賞を受賞されました。</p> <p>今回、最優秀金賞を受賞したお米は、アイガモ農法*で栽培されたものです。農薬や化学肥料を一切使用せずに丁寧な栽培管理を行い、「安心」、「安全」、「おいしい」にこだわった自慢のお米に仕上がったとのこと。</p> <p>本市は、県内随一の穀倉地帯であり、食の安心・安全や環境保全が求められる昨今の情勢を踏まえ、その取り組みの中で「おいしい米」を育み、認知度向上に努められる同校の姿勢は、本市における農業の担い手の育成及び新しい生産管理の可能性を広げることに大きく貢献されています。</p> <p>その功績に対しまして、市民の栄誉と喜びとして讃える「市長賞詞」を贈呈いたします。</p> <p>*アイガモ農法… 稲作期間中の水田に放飼したアイガモが雑草や害虫を餌として食し、水田の中を歩き回ることによって土が攪拌され水が濁り、雑草の発生を抑えることから、除草剤や殺虫、殺菌剤等の農薬を一切使用せずに栽培される。また、アイガモの排泄物や収穫後の緑肥としてレンゲソウを栽培しすき込むことで養分を確保しているため、化学肥料を必要としない。</p>				